

Jan. 2023

IKAGAKU Support News



Contents

セミナー・説明会を開催しました

マップ、標本箱、染色かご、染色瓶 返却のお願い

動物実験施設より

令和4年度 放射線定期教育・訓練の実施について

学生実習サポートを行いました

コラム

コラム

身近な野鳥
その2

今日の
理系あるある

目次

セミナー・説明会を開催しました	・・・ 1
マップ、標本箱、染色かご、染色瓶 返却のお願い	・・・ 2
動物実験施設より	・・・ 3 ～ 4
令和4年度 放射線定期教育・訓練の実施について	・・・ 5
学生実習サポートを行いました	・・・ 6
コラム	・・・ 7



身近な野鳥

その2

表紙の写真：「ジョウビタキ(雄)」

感染防御学 松本 哲先生

ジョウビタキ

冬になり「ヒッヒッ」と澄んだ甲高い鳴き声を耳にすることはないでしょうか？冬鳥として渡来し、山地から平地の少し開けた所で見つけることができます。雄と雌では別種？と思うほど見た目が異なります。雄は頭が銀白色、顔・喉が黒色、腹・腰が橙色で翼に白斑があり、雌は全体が灰褐色で、下腹から尾にかけて橙色で翼に小白斑があります。大きさはスズメほどで、比較的警戒心が少なく、数mの距離で囀っていることもあります。

ヤマガラ

スズメほどの大きさで、腹の橙色が目をはきますが、頭が黒色、頬がクリーム色、喉が黒色、翼が暗青灰色で白斑は無く、ジョウビタキの雄とは配色が異なります。雌雄で体色の違いはありません。「ツイッ、ツイッ、ニーニー」と鳴きます。ジョウビタキとヤマガラ、どちらも重信キャンパス内で見られます。



ジョウビタキ♂



ジョウビタキ♀



ヤマガラ

セミナー・説明会を開催しました

【バイオインフォマティクス支援分野】

「シングルセル解析セミナー」を開催しました。

日時：令和4年10月26日（水）17：00～18：00

場所：オンライン開催（Zoom）

演者：Science & Technology Advisor, 10x Genomics

雨貝 陽介（DVM, PhD）氏

次世代シーケンサーを用いたシングルセル解析のサポート開始に向けて準備を進めています。本年度の学長戦略経費によりシングルセル解析のサンプル調製に用いる専用装置である10x Genomics社のChromium iXが12月に導入されました。本セミナーではシングルセル解析でどのような事ができるのか（トランスクリプトーム、ATAC等）を中心にご講演いただきました。また関連する技術として凍結組織やFFPEの組織切片の全トランスクリプトームを、位置情報を残した形でマッピングすることができる 10x Genomics 社の Visium Spatial 製品についても原理や解析ソフトをご紹介いただきました。

本セミナーの録画動画を視聴する事が可能ですので、ご興味がある方はお問い合わせください。

シングルセル解析のサポート開始時期はまだ未定ですが、決まり次第お知らせいたします。

【イメージング解析支援分野】

「オールインワン蛍光顕微鏡BZ-X800使用説明会」を開催いたしました。

日時：令和4年12月1日（木） 9:30～11:15

場所：オンライン（Zoom）

講師：株式会社キーエンス 溝上 資朗氏

内容：装置概要と基本操作の説明、機器メンテナンス方法について、一般利用者向け及び機器管理者向けの使用説明会を開催いたしました。説明会にご参加頂けなかった方も説明会動画の視聴は可能ですので、以下のURLよりお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/UDYEgGQ140>

標本マツペ、標本箱、染色かご、染色瓶 返却のお願い

【イメージング解析支援分野】

平素より組織標本作製受託業務のご依頼、誠にありがとうございます。
組織標本返却時に使用しております①標本マツペ、②標本箱、③染色カゴ、
④染色瓶の返却をお願いいたします。
未返却がこのまま続きますと標本返却ができなくなる可能性があり、別途料
金を徴収することになりかねます。
ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

返却場所：重信キャンパス
学術支援センター医科学研究支援部門
3階 組織化学解析室
学内便可能（城北・樽味キャンパスのご利用者様）

①標本マツペ



②標本箱



③染色カゴ



④染色瓶



動物実験施設より（1/2） （旧 Animal Center News）

◆モニター動物の定期モニタリング検査の実施

いつも動物実験施設を清潔にご利用いただき、誠にありがとうございます。
2022年12月6日にモニライザによる、モニター動物の定期モニタリング検査を行いました。

検査項目は、HVJ、MHV、M. pulmonis、Tyzzerの4項目で、全ての高度SPF及びSPF飼育室にて全項目陰性でした。

検査結果は、ADRESホームページ

（URL：<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/04/bumon/14/result.html>）

にも掲載しておりますので、ご確認ください。

◆ラット盲腸蟯虫の駆虫・殺卵作業の完了と利用再開に関して

令和4年9月度の実験動物研究所における定期モニタリングおよびその後の抜き取り検査において、221号室・242号室のラットから盲腸蟯虫陽性が確認されました。同室を利用されている先生方に速やかに通知を行った上で、他室への持ち出し停止・共同利用実験室の使用停止措置を講じ、薬剤投与（パモ酸ピランテル配合飼料の給餌、イベルメクチンの噴霧）による駆虫作業および加熱処理（お湯で床・ラックを清掃、スチームクリーナーでラックチャンバー・部屋細部を清掃）による殺卵作業を約2か月間にわたって施行させて頂きました。その結果、全ラックの検査用ラットから陰性が確認されたため、使用停止措置をすべて解除し、通常利用を再開させて頂きました。同室をご利用頂いてる先生方には、当施設の対応に迅速かつ真摯にご協力頂き、この場を借りて感謝申し上げます。再発防止に向け、日頃の清掃作業等より一層尽力して参りますので、今後とも当施設の円滑な運営にご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

◆2022年度実験動物関係教職員高度技術研修に参加しました

令和4年11月14日～16日の3日間、マウスの表現型と遺伝子型の解析技術についての高度技術研修が行われました。オンライン形式で行われ、当施設からは2名の職員が参加しました。Modified-SHIRPA法による解析方法や遺伝子型検査など多くの内容を学び、マウスを観察するうえでのポイントや発生工学などに関する有意義な情報を習得することができました。また、理研BRCや筑波大学の施設見学をおこない、他の施設での施設管理の方法について知る良い機会となりました。今回得られた有用な知識を今後の施設運営・業務遂行に活用して参りたいと思います。

動物実験施設より（2/2） （旧 Animal Center News）

◆研究会総会と研究発表会 参加報告

第40回九州実験動物研究会総会および第42回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会の合同大会に参加してきました

令和4年11月12-13日に、第40回九州実験動物研究会総会および第42回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会の合同大会が福岡大学の主催で開催されました。対面とオンラインによるハイブリッドで開催され、当施設の専任教員・技術職員はオンラインで参加しました。近年のデジタルフォーメーション（DX）と動物実験に関する内容がトピックとして比較的多く、当施設を含む動物実験の将来を考える良い機会となりました。今後も時代に沿った動物実験が実施できるよう運営していきたいと思っております。

◆令和4年度大学院博士課程選択実習を実施しました

令和4年10月18日（火）および10月26日（水）に、下記内容にて令和4年度大学院博士課程選択実習を実施しました。2日間で合計4名の大学院生が参加しました。フリー実習となっており、それぞれの先生方の要望に沿って進められ、実際に実験動物（マウス・ラット）を用いて、適切な取り扱いや、動物実験の基本的な手技を習得していただきました。

実習タイトル：動物実験の基礎

指導教員：金川基、佐伯法学

開催時期・場所：10月18日（火）15:00-17:30 2名

動物実験センター2階222処置室

10月26日（水）15:00-17:30 2名

動物実験センター2階222処置室

使用動物：マウス・ラット

実施内容：馴化・保定法、投与方法（腹腔、皮下、経口、尾静脈）、採血法（尾静脈、後大動脈、心臓）、麻酔法（三種混合麻酔薬注射およびイソフルラン吸入による麻酔）、安楽死法、サンプリング、解剖など



実習の様子

令和4年度 放射線定期教育・訓練の実施について

【RI実験施設】

令和4年度放射線定期教育・訓練の実施について

学術支援センター（重信地区）放射線障害予防規程第28条に基づく継続のための教育・訓練を2023年2月頃より実施します。附属病院と合同で行う教育・訓練で、400名以上の方が対象となります。

昨年度に引き続き、e-Learning（Moodle3.5）で開催します。来年度も放射線業務に従事する方は、必ず受講願います。詳細についてはメールにて案内させていただきます。よろしくお願います。

The screenshot shows a Moodle3.5 course page. The top navigation bar includes 'Home', 'マイコース', '2022年度', '連年(秋)', and '2022-令和4年度 定期放射線教育・訓練'. The main content area is titled '令和4年度 定期放射線教育・訓練' and contains the following text:

医学部附属病院放射線障害予防規程第28条、学術支援センター（重信地区）放射線障害予防規程第28条に基づく教育・訓練を下記のとおり実施します。

来年度も放射線業務に従事する方は、必ず受講願います。

資料の著作権は、作成者（著作権）に帰属いたします。著作権者の許諾を得ることなく、複製、公衆送信、改変、ウェブサイト等への転載などの行為は、著作権法により禁止されていますので、取り扱いは十分ご注意ください。

附属病院の放射線業務従事者は、継続状況により教育訓練内容が異なっております。（ADRESの従事者は全員同じ内容です。）

必要な項目が選択できないように設定しておりますが、該当事項をよく読んで、もし自分が間違った内容を受講していると感じましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

学術支援センター 岩崎 livasaki.tomoyuki.mx@ehime-u.ac.jp

よろしくお願います。

全体アナウンスメント

1 教育訓練

共通の注意事項

- ①視聴するブラウザにSafariを使用した場合、視聴しても完了マークがつかないことがあります。あらかじめ別のブラウザ(MicrosoftEdgeやGoogleChrome等)にてご視聴くださいますようお願いいたします。
- ②配布資料のダウンロード、ビデオの視聴に完了マークがつかない、確認テストに進めません。ビデオは再生を中断した場合、基本的には続きから再生しますが、リセットされることもあります。できる限り連続再生による視聴をお願いいたします。
- ③視聴モードに「ノーマル」と「プレビュー」がありますが、必ずノーマルモードで視聴ください。
- ④出席票まで完了となれば、本教育訓練は終了となります。

配布資料

Moodle3.5 でご受講ください（現在準備中です）

学生実習サポートを行いました

【教育支援分野】

講座から依頼された学生実習のサポートを行いました。

サポートの流れ

1. サポート内容の打ち合わせ
2. 事前準備
3. 学生実習のサポート
4. 後片付け及び反省点・改善策への助言

医化学実習（1回生）



講義風景



実習風景

薬理学実習（2回生）



講義風景



VR (Virtual Reality) 実習風景

コラム

今日の
理系あるある

実験して



食べて



寝て



実験して...

以下、くりかえし

あの人ずっといる?!



今日の理系あるある

研究室で暮らしてる。

暖かく、ネットが使えて料理もできる。研究室って快適ですよ。あるとき所属していた研究室では、飲み会ではなく単に食事として鍋をしていた方々がいらっしゃいました（それもなぜか私の机で）。また別の研究室では、メンバーの冬休み日程の中に「〇〇（名前）、無休」という力強い文字が。

皆様どうぞ健康第一で、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

本年も、学術支援センター医科学研究支援部門をよろしく願います。

（コラム担当：芝野郁美） 7